



NO.879

2012. 8. 12

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二四四五八
F 四三二四四五七



降ひょう・集中豪雨のつめ跡を調査

二見ヶ岡・平和・潮見地区、大曲湖畔園地

網走市議会の経済建設委員会は7日午後から農作物作況調査と所管施設調査を行いました。あわせて、降ひょう・集中豪雨による被害の現地調査を行い、共産党議員団の飯田・松浦両議員は委員外議員として参加し、被害の状況をつぶさに調査しました。

7月31日午後2時30分頃、網走市上空を発達した積乱雲が通過し、局地的に雷を伴う大雨となり、最大瞬間風速19.5メートルを観測した強風のほか、直径10ミリの雹を観測した。7月31日午後2時30分頃、網走市上空を発達した積乱雲が通過し、局地的に雷を伴う大雨となり、最大瞬間風速19.5メートルを観測した。7月31日午後2時30分頃、網走市上空を発達した積乱雲が通過し、局地的に雷を伴う大雨となり、最大瞬間風速19.5メートルを観測した。

市内の平和地区、二見ヶ岡地区、大曲湖畔園地、潮見地区の一部などが積乱雲の通過経路となり、327ヘクタールの農地で、甚大な被害となりました。被害の大きかった二見ヶ岡地区では、麦類は茎が折れ、ビート・でん粉原料用ばれいしは葉に穴があき欠損し、飼料用トウモロコシは全滅、収穫直前のタマネギ畑の前で農家の方から直接説明を受けました。

大曲湖畔園地では、景観用作物（ヒマワリ、キカラシ）、農作物（ジャガイモ、トウモロコシ、アスパラなど）、小果樹（マタタビ、コクワなど）、循環作物（ソバ等）など全てがひょう・風や豪雨でなぎ倒されたり、引きちぎられるなどの被害を受けました。特に9月期の観光客集客を目的に広大なひまわり畑を創出し、巨大ひまわり迷路の設置といった目玉事業の迷路実施は、被害によりその見込みは全くつかない状況になりました。

所管施設調査では、公共土木施設の被害状況のうち、向陽ヶ丘中央線の歩道路面損傷の現場を視察しました。最近では毎年のように、降ひょうや集中豪雨による被害が続出しています。それに見合った対応策が、今後求められています。



二見ヶ岡地区の被害を受けたタマネギ畑

松浦奮戦モ

いま、地域を訪問する「解散総選挙ありそうですか」と聞かれることが多くなりましたが、消費税増税法案をめぐる緊迫した事態が続いている反映だと思えます。

衆議院では日本共産党をはじめ野党7党が野田内閣不信任決議案を、参議院でも野田首相に対して問責決議案が提出されました。不信任決議案では、野田内閣が強行しようとしている消費税増税法案は「民主党の政権公約に反する」と批判。国民の多くは増税法案に反対し、今国会で法案を成立させるべきではないとの声が圧倒的だと言指し、「国民への約束、国民の声に背く政治姿勢をとり続ける野田内閣は信任に値しない」と断じています。

7野党が消費税そのものへの考え方の違いを超えて、消費税増税法案の採決を阻止し、廃案に追い込むために、不信任案を共同で提出したことは非常に重要なことです。何としても廃案にしてほしいです。

いよいよ東奔西走

ロンドン五輪は連日の熱戦が続いていて、寝不足の人が多いいのではないのでしょうか。その中で、横並びの五輪テレビ報道と特化した番組編成に疑問と要望が出ています。関西の三つの視聴者団体がNHK大阪に「五輪に特化した番組編成を改め、国民生活にかかわる重要問題を掘り下げた番組」を放送することを求めています。

現在、消費税増税法案や社会保障の削減などが国会で採決されようとしているし、オスプレイ配備や原発再稼働に対する市民の行動が巻き起こっていることについて、「どれ一つとつても、掘り下げた報道が求められている」と指摘し、「まるでオリンピック専門チャンネル」のようにこれでは「政治や社会問題から国民の関心をそらす役割を果たしていると言わざるを得ません」と強調している。オリンピックが生身の選手たちによる熱戦で成り立ち、彼らが与えてくれる感動も本物です。

しかし、その一方で社会の動きが十分に報道されなくなることには注意が必要ではないか。この時期、視聴者に伝えるべきは五輪のメダル獲得数だけではないはず。

流水

「計画停電に伴うエレベーターの使用停止等について」というお知らせが、道営住宅団地の掲示板に貼られています。計画停電の可能性があるのでその場合は「エレベーターを使用しないこと」給水ポンプも停止するから「水道水も使用できなくなる」「事前に溜置水などを各自で対応してください」という内容です。▼北電、道は、いまにも電力不足になって停電するかのようない方で「節電」を求めています。「北電」は、道内唯一の独占電気事業者で、必要経費をすべて電気料金に含ませているため、赤字にならない経営体です。ですから本来「電力不足」を起さず道民の電力を保障する役割を果たさなければならぬと思います▼さて、道の「広報」を見ると「節電への協力をお願い」として7%以上の節電目標が提示され、いくつもの項目の中に「照明使用していない部屋は電気は消す」「節電効果7%」と書かれています。このこと自体は異論はないのですが、道民にお願いするのと同時に道自身も「節電」の実行をしようでしょうか。さきの道営住宅団地は、共用廊下の電灯は夜中も点きっぱなしです。この「自治会」では会費（1ヶ月2000円）の70%がこの共用廊下の電気料として払わせられています。隣の「市営住宅団地」は夜中の共用廊下の点灯は必要な時だけ点ける仕組みです。ですから会費も道営住宅入居者の半分で済んでいます。▼全道に夜中に共用廊下の電灯が点けっぱなしの道営住宅がどれほどあるか分かりませんが、これだけでも相当の「節電」になるのではないのでしょうか（鬼）